

たひざをたて、かけおろしをするといへども、不禮に見へて悪し居ながらかけおろし尤也。

〔和泉草^三〕棗中次茶桶雪吹茶入

一棗五ツ指ニテ形能持テ、棗ノ上ヲロクニ成ル様ニ持茶ヲ汲物也、茶杓置時、茶杓ノ先ノ方ヨリ蓋ノ上ニ置ベシ、

一中次ノ持様、五ツ指ニツ中次ノ底へ當テ持テ、蓋ヲ取時、中次ノ上ヲ右ノ方へカタムケテ蓋ヲ取也、中次ノ蓋ト下ハ、兩方へ引分ル様ニ蓋ヲ取物也、茶杓ハ上ヨリスグニ置也、中次之角へ茶杓ヲ當ヌ様ニトノ用捨也、

一棗中次茶ヲ立ル前、フクサ絹ニテ改事、棗ハ上ヲソツト和巾絹ニテ拂ヒ、脇モザツトフク様ニシテ置合ベシ、中次ハ上ノ角ニ當ラヌ様ニ、上ヲ卒トフク心シテ、脇モ少シフク心モ吉、蓋ノ上計拂様ニシテ、脇ハ其儘置合タル方増ニテ候、棗中次和巾アイシライ、功者ノスルヲ見テ覺習フベシ、

一茶桶モ棗中次同前也、茶杓ノ置様、棗ニ同前也、

〔槐記〕享保十二年三月廿七日、參候、ツルツキノ茶入、テガメナドノアシライ同前ナリ、和物ノ茶入ハ左ニテ取ル、唐物ノ茶入ハ右ノ手ニテトル、故ニツルツキノ手ガメ、右手ニテトル方へ手ヲ直ストノ仰ナリ、家照近衛今ノ當流ニハ、皆茶入ノ分ハ右ニテ取候ト申シ上グ、マコトニ左アレバ、其論ハナキ筈也ト仰ラル、十四年十一月廿日、參候、昨日ノ茶湯ノ御ウワサトリ、ナリ、大茶入ノアシライノコトヲ申上グ、仰ニ、朝日春慶ノ類ハ、大ナルホドヲ尊ブ、御前御所持ノハ、昨日ノ茶入ニ今ニカサモ大ナリ、ソレ故左ノ手ニテ横ニハトラレヌナリ、大茶入ニカギリテハ、右ノ手ニテ上カラ鷺ヅカミニニトルコドナリ、コレ習ナリト仰ラル、尤ナル御コトナリ、サナケレバハナハダ危シ、ソレ故ニ唐物ダテノ如ク茶筌ヲハヅスナリ、左ナケレバ茶筌ト茶入トノ間へ手ガ入故ナ